



さぎそう

帰国・外国人教育相談室だより

令和7年12月17日発行
世田谷区 帰国・外国人教育相談室 (梅丘中学校内)

支援校4校の紹介

世田谷区には、帰国・外国人教育相談室とは別に、小学校3校、中学校1校の支援校があります。それぞれの学校に通学している帰国生や、外国人児童生徒の指導を担っています。それぞれ特色ある教育活動を行っていますので、その事例等を各担当よりご紹介します。少しでも自校の児童生徒の指導・支援に役立てていただけると良いかと思います。

上北沢小学校

国際教室担当 山口 千絵

小学校

国際教室では、滞在国と日本の文化や学校生活の違いを理解したり、学級での学習に自信をもてるようにしたりと、より良い学校生活が送れるように支援をしています。

国際理解集会では、委員会の一つである「国際委員会」で国際教室の通級児童や外国に滞在経験のある児童をゲストにした番組（動画）を製作し、住んでいた国の文化を紹介しています。身近な友達から外国の話聞くことで、世界を身近に感じることができ、また、自分のアイデンティティやバックグラウンドに自信をもち、愛着を深めることにも繋がっています。



都の支援を受けて『DLA』研修の
中心となっていただいています

千歳小学校

けやき教室 土井 郁世

千歳小学校「WR けやき教室」では、一人ひとりに応じた学習支援をしています。文化や言語の違いに戸惑いや不安を抱えることなく、自身のバックグラウンドに自信をもちながら学校生活を過ごせるような取組みをご紹介します。

「音読発表会」

授業や図書の時間で出会った物語や、お気に入りの本の中から好きな場面を選び音読を披露します。保護者の方々や担任の先生方の見守る中で発表する経験は、今後の学校生活への自信に繋がっていると思います。

「WR けやきキャリアパスポート」

日本語の学習でどのようなことをがんばれば良いのか、学習ごとに目標を立てます。また、学期の終わりには、振り返りの時間を取り、次への日本語学習の意欲を高めていきます。それらは、ファイルに保存し次年度へ引き継がれていきます。

「けやき教室高学年による校内放送」

様々な国での豊かな経験をもっている児童が多く、その強みを活かして海外で知っていると言葉を募り放送をしています。放送から流れる流暢な異国の発音に感動する児童の姿も見られました。

八幡小学校

ゆりの木学級担任 高澤 美和

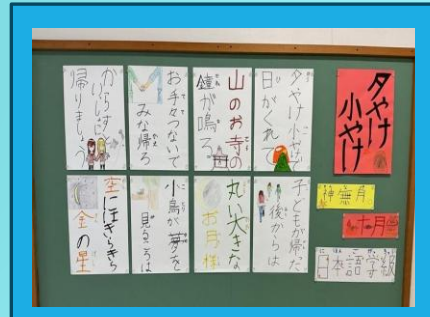
八幡小学校ゆりの木学級では、一人ひとりについて個別指導計画を作成し、計画的に日本語や教科の指導を行っています。12月1日現在、7か国に関係のある11名の児童が校内から通級して学んでいます。

学級担任とも連携し、例えば、算数で未習内容があった場合は日本語学級で補習し、学年の学習を理解できるように支援しています。

ゆりの木学級では、絵本や図鑑、写真付きのことわざ辞典など、言葉に関する読み物をたくさん置いています。「一つの花」や「やまなし」など教科書に出てくる物語の絵本を一緒に読みます。教科書より絵が豊富で、仮名で書かれていることが多いので、読みやすく言葉の理解を助けることができます。

また、童謡や俳句を通して日本の季節の言葉を学ぶ機会をつくっています。

児童がいろいろな本や歌などに親しみながら、生きた言葉として日本語を身に付けられるように工夫しています。



中学校

*区内唯一の中学校の支援校では、担当教科(英語)のほかにも、進路指導主幹や3年生の担任などもされながら日本語指導を行っています。

梅丘中学校

日本語指導担当 廣澤 和子

『外国にルーツを持つ生徒が安心して学べる環境づくり』

◎ 帰国・外国人教育相談室との連携

梅丘中学校内の帰国・外国人教育相談室と連携し、日本語の初期指導、水曜・土曜の補習教室への円滑な持続を図っています。また、学校生活や取り出し授業での様子などの報告を共有し、専門的な視点から学習教材や指導方法などについて助言していただいています。

◎ 取り出し授業

日本語での授業理解が困難な生徒を対象として、保護者の承諾を得た上で、週2時間程度別室で指導を行っています。日本語の学習はもちろんですが、文化的な違いへの戸惑いの把握、学校行事に向けた行程や持ち物の確認、進路選択に向けた支援なども行い、校内で情報共有し、関連する指導に役立てています。取り出し授業の回数にも限りがあるので、困ったときにロイロノートでいつでも質問できるようにしています。ある生徒は「授業で調べたことをまとめ、発表する前に自らルビを付けたものが正しくできているか確認してほしい」とメッセージをくれました。添削し、録音機能で音声を付けて返すと、くり返し聞きながら読む練習をしていました。取り出し授業時にミニ発表会を設定し、他生徒や帰国・外国人教育相談室の先生方にも聞いていただきながら、本番同様に発表練習ができました。事前に経験を積むことで自信をもって発表でき、クラスメートに「日本語がすごく上手になっていて、感動した!」とほめてもらい、達成感を味わったようでした。

◎ 定期考査での配慮

定期考査では、学習用タブレットの翻訳機能の使用を認めています。(別室での受験) また、英語を母語・共通語とする生徒には英語の試験を英語版で提供するなど、言語面で配慮をしています。

世田谷区では以上4校が、自校の児童・生徒の日本語指導を担っています。

それぞれの学校の実態に応じてそれぞれ工夫されています。

もし、詳しく知りたいと思ったことがありましたら、帰国・外国人教育相談室までご連絡ください。連絡先は tel.03-3322-7776 e-mail kik401@setagaya.ed.jp です。